

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	職員研修に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	2	
政策	41計画の実現のために	担当課室	総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	武田 秀一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、引き続き研修計画を見直しと共に、計画の実施を行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、研修計画の見直しとその計画の実施を行う。
②①に基づく取り組み結果	人材育成基本方針に基づき、研修計画を見直しとともに、平成27年度においては3つの新たな研修を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全職員	意図(対象をどうするのか)	求められる職員像に必要な能力を職員が身につけている
②事務事業の概要	人材育成基本方針に基づき、人材育成のため全職員に対して、それぞれに求められる各種研修を実施し、職員の能力開発を実現する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	各公共団体の独自性が求められる昨今においては、市民のために動ける職員、より高い目標を達成する自律型職員、組織力を活かせる職員が求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	①平成28年度研修計画の策定 ②階層別研修・実務研修の実施 ③派遣研修・自主研修の実施					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 職員数(二役、教育長を除く)	688	696	699	人	鎌ヶ谷市職員配置録
	ii 研修受講人数	1,064	998	1,003	人	鎌ヶ谷市職員研修概要
	iii 研修受講人数/職員数	155	143	143	%	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	3,255	2,789	金額(千円)	内容	3,529	
	国支出金(千円)		1,431	研修負担金		
	県支出金(千円)		482	講師派遣手数料		
	市債その他(千円)		502	研修講師報償		
	一般財源(千円)	3,255	2,789	362	職員派遣旅費	3,529

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	改定した人材育成基本方針に基づいた研修計画の見直しとその計画を実施していく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	人材育成基本方針に基づき職員が必要な能力を身につけるため、研修・能力開発を実施する必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	総合戦略等策定事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	8	
政策	41計画の実現のために	担当課室	企画財政課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	大塚 潤一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度のみ事業であるため、前回の評価なし。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	平成27年度で終了のため、なし。
②①に基づく取り組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	鎌ケ谷市「人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと総合戦略」	意図(対象をどうするのか)	関係団体等との意見を取り入れ、策定する。
②事務事業の概要	「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、市の人口減少対策やまちの活性化を図るため、平成27年度中に、「鎌ケ谷市人口ビジョン」及びこれを踏まえた「鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	国は、平成26年11月28日に「まち・ひと・しごと創生法」を公布し、「長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。また、同法に基づき、各自治体も平成27年度中に「総合戦略」の策定を行った。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	転出、転入、結婚・出産・子育てに関するアンケートを実施するとともに、市議会議員や外部の有識者による審議会等の意見を踏まえ、「鎌ケ谷市人口ビジョン」及び「鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年12月28日に策定した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	人口ビジョンの策定	—	—	1	ビジョン	業務取得
	ii	総合戦略の策定	—	—	1	計画	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	0	9453	金額(千円)			内容	0
国支出金(千円)	0	9,453	8,964			人口ビジョン等基礎調査業務委託	
県支出金(千円)	0	0	309			市民意識調査用無作為抽出処理委託	
市債その他(千円)	0	0	177			鎌ケ谷市総合戦略等検討委員会委員報償	
一般財源(千円)	0	0					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	総合戦略に定めた重要業績評価指標(KPI)の達成に向け、進行管理を行っていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	「まち・ひと・しごと創生法」では、平成27年度中に総合戦略の策定が求められており、予定どおり策定が完了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	教育委員会運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	教育総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、学校や教育機関との意見交換の機会を設けていくほか、大幅な教育政策の変換期にあたることから、他市の動向を把握しながら、本市の新しい教育委員体制を確立する。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、学校や教育機関との意見交換の機会を設ける。
②①に基づく取り組み結果	公開研究会や各種学校行事に参加するほか、児童生徒の学習に取り組む現場を視察するなどし、新しい教育委員体制の確立に努めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	教育委員会委員	意図(対象をどうするのか)	人格が高潔で、教育、学術及び文化に関する識見を有する者を任命する。
②事務事業の概要	毎月1回定例会を開催し、本市の教育方針や教育行政にかかわる議決事項を審議し決定している。教育長が必要と認めるとき、または委員2人以上から会議に付議する案件を示して会議の招集の請求があったときは臨時会を開催する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	教育委員会の大幅な教育政策の変換期にあることから、他市の動向を把握しながら、新しい教育委員体制を確立する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	生涯学習の推進、芸術・文化の振興、文化財の保存、スポーツの振興など教育行政に多様な民意を反映した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 定例会の回数	12	12	12	回	実施回数
	ii 臨時会の回数	6	5	7	回	実施回数
	iii 議決された案件	61	46	33	件	議決案件数
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	2,436	2,272	金額(千円)	内容	2,351	
	国支出金(千円)		2,123	報酬		
	県支出金(千円)		117	旅費		
	市債その他(千円)		32	負担金		
	一般財源(千円)					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	教育に携わる者の意欲の向上や達成感を図り、鎌ヶ谷市の教育行政を推進することが課題である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	鎌ヶ谷市の教育行政の発展のため、的確な情報や学校の課題を引き続き把握する必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況	0	補正		0	現年分
		流用・充当			
④未完了・非着手の理由	平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	議会事務局の運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	1	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	議会事務局			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	石井 孝宜			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	議員改選に伴う一連事務を円滑に実施する。また、目的達成のため、今後とも円滑な議会運営に努め、市民への周知を図るため効果的な事業の展開を図っていく。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	目的達成のため、今後とも円滑な議会運営に努め、市民への周知を図るため効果的な事業の展開を図っていく。
②①に基づく取り組み結果	議会だより紙面のカラー化、駅への配架等を実現するなど、効果的に事業を実施することができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、市議会議員	意図(対象をどうするのか)	憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行う。
②事務事業の概要	憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行うため、それを保障するための議会事務局の運営に関する経費。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地方分権がより一層進む状況のなかで、今後とも議会活動等の透明性の確保、内容を広く周知すること及び新たな政策提案を求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	適切な事業計画に基づき費用対効果に十分配慮したうえで、遅延することなく事業を実施することが出来た。						
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠	
	i	傍聴者数	483	528	565	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	23126	24148	金額(千円)	内容	31,925		
国支出金(千円)			4,828	会議録反訳委託			
県支出金(千円)			1,834	議会中継システム構築業務委託			
市債その他(千円)			1,169	議会だより折込委託			
一般財源(千円)	23,126	24,148	2,854	映像設備・音響設備使用料	31,925		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	地方分権の進捗に伴い、議会活動の透明性の確保と内容の周知と併せて、新たな政策提案が求められている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	より効率的かつ効果的な議会運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況	0	補正		0	現年分
		流用・充当			
④未完了・非着手の理由	平成28年度への繰越額(単位:千円)				